平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	高齢者インフルエンザ予防接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

事業の目的

65歳以上の高齢者及び60～65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器に重い病気のある方に対し、インフルエンザの罹患あるいは重症化を予防することを目的に予防接種を実施する。

根拠条例等	予防接種法　宇陀市インフルエンザ予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

医療機関において各自予約の上、接種を受ける。
対象者：接種当日満65歳以上の方
　　60歳以上65歳未満で心臓や腎臓、呼吸器等に重い病気のある方
接種回数：1回
自己負担金1000円以外の費用を補助する。

24年度予算額		
	需用費	95千円
	委託料	23,025千円
	負担金	175千円

事業の成果

22年度接種者数	6,131人
23年度接種者数（24年1月末）	5,989人

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		280
一般財源		23,015
H24予算額	A	23,295
H23当初予算額	B	23,303
H23現計予算額		23,303
増減額	A－B	▲ 8

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）	19,883	21,426
従事職員数【人工】	0.01	0.01
人件費（人工×8,000千円）	80	80
総事業費：人件費含む（千円）	19,963	21,506
活動指標名	接種者数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	6,131 単位 人	5,989 単位 人
単位当たりコスト（円）	3,256	3,591

特定財源の状況

24年度高齢者インフルエンザ自己負担金予算額（市外接種分）
1,000円　×　280人　＝　280,000円

事業の目標

高齢者のインフルエンザの罹患あるいは重症化を予防する。

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(3) がん予防対策等の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	ヒブワクチン接種事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的	乳幼児の感染症を予防するために、ヒブワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要	「ヒブワクチン予防接種事業」： 5歳未満の乳幼児を対象に助成する。 8,852円/1回(内自己負担額800円)接種開始月齢により接種回数が異なる。(4回～1回接種)
事業の成果	乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある小児細菌性髄膜炎を予防することができる。 平成22年度対象者　169名(1歳未満) 接種実人数　70名(127件接種)接種率　41.4% 平成23年度対象者　896名(5歳未満) (見込) 接種実人数　161名(304件接種)　接種率　18.0% 決算見込内訳:委託料2,448,000円　印刷製本費16,000円 計2,464,000円

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		3,221
市　債		
その他		
一般財源		3,221
H24予算額	A	6,442
H23当初予算額	B	7,379
H23現計予算額		7,379
増減額	A－B	▲ 937

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	1,127			2,464		
従事職員数【人工】	0.30			0.10		
人件費(人工×8,000千円)	2,400			800		
総事業費:人件費含む(千円)	3,527			3,264		
活動指標名	接種人数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	70	単位	人	161	単位	人
単位当たりコスト (円)	50,386			20,273		

特定財源の状況

子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金
3,221千円

事業の目標	接種率を高め、乳幼児の健康保持・増進に努める。 また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト (6) 育児支援策の充実

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈4-1-2-1〉	〈123〉

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	子宮頸がん予防ワクチン接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	子宮頸がんを予防するために、ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努める。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要	「子宮頸がん予防ワクチン接種事業」： 中学校1年～高校1年生の女子を対象として助成する。 1人3回接種　15,939円/1回（内自己負担額1,500円） 200人×3回=延600人見込み
事業の成果	子宮頸がん予防ワクチン接種をすることにより、子宮頸がんの発生を未然に防止し、がん発生率を抑制する。 対象者中学1年～高校1年生の女性575人 （見込）接種実人数283人（813件接種） 接種率　49.2% 平成23年8月から接種開始となり6ヶ月の間に計3回接種を行うワクチンであり、年度内に3回完了できていない人が一部あり。 決算見込内訳：委託料（見込）11,739,000円　印刷製本費24,000円　役務費13,000円　計11,776,000円

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		4,401
市　債		
その他		
一般財源		4,305
H24予算額	A	8,706
H23当初予算額	B	9,179
H23現計予算額		9,179
増減額	A－B	▲ 473

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		11,776
従事職員数【人工】		0.10
人件費（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む（千円）		12,576
活動指標名	接種人数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	単位	283 単位 人
単位当たりコスト　（円）		44,438

特定財源の状況
子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金　4,401 千円

事業の目標	接種率を高め、女性の健康保持・増進に努める。 また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト （6）育児支援策の充実

年度	会計	区分	所属
〈2012〉	〈1〉	〈4-1-2-1〉	〈123〉

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	小児用肺炎球菌ワクチン接種事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的	乳幼児の感染症を予防するために、肺炎球菌ワクチン接種料金を助成し、接種勧奨に努め、乳幼児の健康保持・増進に努める。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	2	予防費
細目	1	本庁予防費

根拠条例等	宇陀市任意予防接種実施要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要	「小児用肺炎球菌ワクチン予防接種事業」： 5歳未満の乳幼児を対象に助成する。（4回～1回接種）11,267円/1回（内自己負担 1,100円）接種開始月齢により接種回数が異なる。
事業の成果	乳幼児に死亡や重い後遺症を残すことのある重症な肺炎を予防することができる。 平成23年度対象者896人(5歳未満) （見込）接種実人数　157人（318件接種） 接種率　17.5% 決算見込内訳：委託料323,000円　印刷製本費16,000円　計3,249,000円

財源の内訳	（単位：千円）	
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		4,067
市　債		
その他		
一般財源		4,067
H24予算額	A	8,134
H23当初予算額	B	11,079
H23現計予算額		11,079
増減額	A－B	▲ 2,945

事業のコスト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		3,249
従事職員数【人工】		0.10
人件費（人工×8,000千円）		800
総事業費：人件費含む（千円）		4,049
活動指標名	接種実人数	
活動指標の算式	－	
活動指標の実績	単位	157 単位 人
単位当たりコスト　（円）		25,790

特定財源の状況

子宮頸がん等ワクチン接種事業補助金
4,067千円

事業の目標	接種率を高め、乳幼児の健康保持・増進に努める。 また、定期接種化に向けて国へ要望していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 2. 子ども未来応援プロジェクト （6）育児支援策の充実

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診事業

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

事業の目的	宇陀市における死因別順位は、1位が悪性新生物(がん)・2位心疾患3位肺炎となっており、がんの早期発見のために検診は最も重要である。市民にがん検診の機会を提供し、疾病の予防を目的として健康診査を実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁老人保健健康づくり費

根拠条例等	宇陀市健康診査実施に関する要綱
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要

大腸・胃・肺・前立腺がん検診は各保健センターで実施する32回の集団検診(セット検診)と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。
子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する10回の集団検診(女性のがん検診)と、市立病院、済生会中和病院で受診する個別検診の体制で実施する。

事業の成果

がん検診受診率は奈良県平均より高い。毎年、十数名のがん確定診断者がおり、早期治療につなげている。

	H21年度受診者	H22年度受診者
大腸がん検診	2,184	2,243
胃がん検診	1,746	1,770
肺がん検診	1,922	1,963
前立腺がん検診	818	876
子宮がん検診	1,016	838
乳がん検診	1,105	901

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		2,785
一般財源		17,576
H24予算額	A	20,361
H23当初予算額	B	23,760
H23現計予算額		23,760
増減額	A－B	▲ 3,399

事業のコスト	平成22年度(実績)	平成23年度(見込)
決算額又は決算見込額(千円)	18,431	23,000
従事職員数【人工】	0.10	0.10
人件費(人工×8,000千円)	800	800
総事業費:人件費含む(千円)	19,231	23,800
活動指標名	受診者数	
活動指標の算式	―	
活動指標の実績	8,591 単位 人	8,600 単位 人
単位当たりコスト (円)	2,239	2,767

特定財源の状況

検診自己負担金　2,785千円

事業の目標

市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。

備考

実績・見込については、本庁・大宇陀及び室生の合算
<予算案のポイント>
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
[暮らしの安心]
(3) がん予防対策等の推進

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	がん検診推進事業

所管課	健康増進課	（健康福祉部）

事業の目的
大腸がんは、年間の罹患者数10万人、死亡者数4万人とわが国に多いがんである。特に、働き盛りの40歳～60歳までの5歳刻みの年齢の方全員に対して、無料で検診を実施。（23年度よりの特別事業） また、 がん検診の中でも受診率の低い女性特有のがん検診について、子宮頸がん検診（20歳～40歳）乳がん検診（40歳～60歳）で5歳刻みの方全員に対して、無料で検診を実施。（21年度からの特別事業）

一般会計予算

区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	4	健康づくり費
細目	1	本庁老人保健健康づくり費

根拠条例等	がん予防・早期発見の推進とがん医療水準均てん化の促進　特別予算
総合計画	基本計画　第2章第1節　健康づくりの推進

H24年度事業の概要
子宮頸がん、乳がん、大腸がんについて、対象者全員に無料クーポン券と健診手帳を送付し、無料で検診を実施する。 大腸がん検診検診は各保健センターで実施する32回の集団検診（セット検診）と、市内医療機関で受診する個別検診の体制で実施する。 子宮・乳がん検診は各保健センターで実施する10回の集団検診（女性のがん検診）と、市立病院、済生会中和病院で受診する個別検診の体制で実施する。

事業の成果
子宮・乳がん検診は、21年度からの本事業により受診者が増加

無料クーポン受診者数	子宮がん検診（人）	乳がん検診（人）	大腸がん検診（人）
H21年度	213	398	・・・
H22年度	197	357	・・・
H23年度（H23.12）	190	346	427

財源の内訳　（単位：千円）

分担金		
使用料		
国　費		2,780
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		3,947
H24予算額	A	6,727
H23当初予算額	B	4,992
H23現計予算額		4,992
増減額	A－B	1,735

事業のコスト	平成22年度（実績）			平成23年度（見込）		
決算額又は決算見込額（千円）	4,318			4,900		
従事職員数【人工】	1.00			0.80		
人件費（人工×8,000千円）	8,000			6,400		
総事業費：人件費含む（千円）	12,318			11,300		
活動指標名	受診者数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	554	単位	人	850	単位	人
単位当たりコスト　（円）	22,235			13,294		

特定財源の状況

感染症予防事業費等国庫負担金
2,780千円

事業の目標
市民に検診の重要性を周知し、受診勧奨に努め、受診率を高める。

備考
＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［暮らしの安心］ (3) がん予防対策等の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	病院事業特別会計出資金

所管課	健康増進課	(健康福祉部)

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	7	病院費
細目	1	病院費

事業の目的

病院事業に係る一般会計出資金
宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

根拠条例等	地方公営企業法第17条の2
総合計画	基本計画　第2章第2節　地域医療体制の充実

H24年度 事業の概要

市民の命と健康を守る宇陀市立病院の新築、医療機器の更新に対する出資
平成23年度に引き続き、外来棟建設及び旧館の解体作業を行う。

事業の成果

平成23年12月に市立病院の第1期竣工式を行い、入院病棟・検査・レントゲン等が供用を開始した。

財源の内訳 (単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		416,000
その他		
一般財源		
H24予算額	A	416,000
H23 当初予算額	B	174,390
H23 現計予算額		174,390
増減額	A－B	241,610

事業のコスト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	371,839			174,390		
従事職員数【人工】	0.01			0.01		
人件費(人工×8,000千円)	80			80		
総事業費:人件費含む(千円)	371,919			174,470		
活動指標名	進捗率					
活動指標の算式	執行額／全体事業費					
活動指標の実績	25.0	単位	%	11.7	単位	%
単位当たりコスト (円)	14,876,760			14,911,966		

特定財源の状況

合併特例債　416,000千円

事業の目標

本市や奈良県東部地域における医療体制の充実など、安心できる医療環境づくりを進めるため、市立病院の整備を図る

備考

＜予算案のポイント＞
【重点事業】
3. 市民安心安全プロジェクト
［暮らしの安心］
(2) 宇陀市立病院の新築と医療体制の充実

平成24年度当初予算（案） 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	新規	事業名	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

所管課	環境対策課	（市民環境部）

事業の目的	地球温暖化の防止及び環境保全意識の高揚を図るため、自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置する者に対して補助金を交付する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市太陽光発電システム設置補助金交付要綱（現在考案中）
総合計画	基本計画　第1章第1節　自然環境の保全と活用

H24年度事業の概要	住宅用太陽光発電導入支援対策費補助金交付要綱に基づき、国補助金の交付を受けて、自ら居住する住宅に発電システムを導入した者に交付する。 補助対象者に事業費の10%（上限10万円）相当の商品券を交付する。ただし、1住宅に1回とする。 平成24年度は、20件の範囲で実施する。（先着順）
事業の成果	太陽光発電システムは、自然エネルギーである太陽光だけを使う環境に配慮したシステムである。太陽光発電を取り入れる家庭が増えると、火力発電の負担を軽減できるため、CO2の排出量の抑制に貢献できることになる。

財源の内訳　（単位：千円）		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		2,000
H24予算額	A	2,000
H23当初予算額	B	
H23現計予算額		
増減額	A－B	2,000

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度（実績）	平成23年度（見込）
決算額又は決算見込額（千円）		
従事職員数【人工】		
人件費（人工×8,000千円）		
総事業費：人件費含む（千円）		
活動指標名		
活動指標の算式		
活動指標の実績	単位	単位
単位当たりコスト　（円）		

特定財源の状況

事業の目標	地球温暖化の原因とされるCO2の削減やエネルギー問題への意識高揚を図り、環境に配慮した持続的な発展のため普及を進める。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ （7）地球環境に配慮した施策

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	生ゴミ処理機等購入助成事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	一般家庭の生ごみについて、ごみの減量・資源化の促進として「生ごみ処理機」・「コンポスト」の普及に努める。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市家庭用生ごみ処理機及び処理容器設置費補助金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章第3節　循環型社会の構築

H24年度事業の概要	コンポスト・・・・・・・・10基　30，000円 EMボカシ・・・・・・・・10基　20，000円 生ごみ処理機・・・・・25基750，000円 自主放送や広報等をさらに活用し、事業の啓発活動を計り普及活動に努める。
事業の成果	平成23年度については見込みとして、コンポスト9基・EMボカシ1基・電動式生ごみ処理機4基である。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		800
H24予算額	A	800
H23当初予算額	B	800
H23現計予算額		800
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	164			166		
従事職員数【人工】	0.20			0.20		
人件費(人工×8,000千円)	1,600			1,600		
総事業費:人件費含む(千円)	1,764			1,766		
活動指標名	件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	12.0	単位	基	14	単位	基
単位当たりコスト　(円)	147,000			126,143		

特定財源の状況

事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3. 市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (6) 循環型社会の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	集団資源(古紙)回収助成事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	ごみの減量や資源循環型のまちづくりを行うため、資源の再利用を促進するため、集団資源回収制度を実施する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	1	保健衛生費
目	8	環境衛生費
細目	1	本庁環境衛生費

根拠条例等	宇陀市集団資源回収助成金交付要綱
総合計画	基本計画　第1章　第3節　循環型社会の構築

H24年度事業の概要	宇陀市内の登録団体数は35団体であり集団資源回収の報告は、毎年9月と3月の年2回報告を受け助成金を交付している。平成24年度は、回収量を648，000kgと見込みkg当たり3円の助成金で、1，944千円の予算としている。
事業の成果	平成21年度　623，718kg　助成金・・・・・・1，871，154円 平成22年度　664，385kg　助成金・・・・・・1，993，155円

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		
県　費		
市　債		
その他		
一般財源		1,944
H24予算額	A	1,944
H23当初予算額	B	1,944
H23現計予算額		1,944
増減額	A－B	

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	1,993			1,944		
従事職員数【人工】	0.20			0.20		
人件費(人工×8,000千円)	1,600			1,600		
総事業費:人件費含む(千円)	3,593			3,544		
活動指標名	回収量					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	664,385.0	単位	kg	648,000	単位	kg
単位当たりコスト　(円)	5			5		

特定財源の状況

事業の目標	環境への配慮も含め、個人の意識啓発やごみの減量化・資源化を進め市全体で循環型社会を構築していく。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (6) 循環型社会の推進

平成24年度当初予算(案) 事業別シート　　宇陀市 一般会計

事業区分	継続	事業名	合併処理浄化槽整備事業

所管課	環境対策課	(市民環境部)

事業の目的	生活水準の向上と水質保全を図ることが重要視されていることから、快適で潤いのある生活環境を保持し公共用水域の水質保全のため、合併処理浄化槽設置事業を推進する。

一般会計予算		
区分	No.	区分名
款	4	衛生費
項	2	清掃費
目	3	合併処理浄化槽整備事業費
細目	1	本庁合併処理浄化槽整備事業費

根拠条例等	宇陀市合併処理浄化槽設置整備事業補助金交付要綱
総合計画	基本計画　題1章第3節　循環型社会の構築　廃棄物等の処理体制の充実

H24年度事業の概要	下水道処理区域の見直しにより、合併処理浄化槽整備区域が拡大されると予想されます。、平成24年度以降も下水道課と調整を図りながら進めていく方向であるが、平成24年度については、自主放送や広報誌への掲載等更なる啓発活動に努める。 5人槽　332，000円×20基＝　6，640，000円 7人槽　414，000円×60基＝24，840，000円
事業の成果	平成22年度の設置数は34基で、整備率は36．36%になる。又、平成23年度の設置数については5人槽が8基、7人槽が28基、10人槽が1基で合計37基の整備となる見込みである。

財源の内訳　(単位:千円)		
分担金		
使用料		
国　費		10,493
県　費		10,493
市　債		
その他		
一般財源		10,494
H24予算額	A	31,480
H23当初予算額	B	15,658
H23現計予算額		15,658
増減額	A－B	15,822

事　業　の　コ　ス　ト	平成22年度(実績)			平成23年度(見込)		
決算額又は決算見込額(千円)	13,256			14,360		
従事職員数【人工】	0.60			0.60		
人件費(人工×8,000千円)	4,800			4,800		
総事業費:人件費含む(千円)	18,056			19,160		
活動指標名	件数					
活動指標の算式	―					
活動指標の実績	34.0	単位	基	37	単位	基
単位当たりコスト　(円)	531,059			517,838		

特定財源の状況

国費:循環型社会形成推進交付金
10,493千円
県費:合併処理浄化槽設置事業
補助金
10,493千円

事業の目標	生活水準の向上と自然環境の保全を目的として、平成23年からの五ヵ年計画により整備率を60%を目標とする。

備考	＜予算案のポイント＞ 【重点事業】 3．市民安心安全プロジェクト ［生活基盤の整備］ (5) 合併処理浄化槽の整備推進